

また、満洲事変後の満鉄委任経営に関わる文書として作成されたものとも推測されるが、原秩序が崩壊しているため、ここに含めた。

Sub-Series 「No.2: 関東軍統治部交通課長」は、満洲事変後に関東軍嘱託となった山口が交通課長就任前後に関わった交通政策の業務文書などから構成される。また、このSub-Seriesの下には、3つのSub-Sub-Series（「交通政策」・「鉄道建設・営業」・「呼海鐵路接収」・「松花江水運関係機関整理」・「個別政策」・「メモ・雑書類」）を設定した。これらは類似のものをグループ分けした便宜的なものであって、Sub-Series内部の構造を完全に反映させたものではない。ただし、「呼海鐵路接収」および「松花江水運関係機関整理」に関しては山口の著書（『満州建国』）において交通課時代の具体的な活動として紹介されたものであり、一定のまとまりを持っている。

なお「メモ・雑書類」に含まれる山口によるメモ類は断片的なものが多く、交通課に関わるものか、それ以外の活動（東北交通委員会など）で作成されたものか明確ではない。山口は、交通課に籍を置きつつ、東北交通委員会など複数の同じような業種を兼任しているため、文書群内には明確な区分が不可能な文書が多く含まれている。なかでも、Sub-Series「No.2: 関東軍統治部交通課長」とSub-Series「No.3: 東北交通委員会秘書」は内容的にどちらにも当てはまる文書が多い。本目録では組織上、政策を決定し各機関に指示する立場にあった関東軍統治部交通課を中核とし、明確に区分できる文書のみを「東北交通委員会秘書」・「瀋海鐵路保安維持会監事長秘書」・「齊克鐵路復興委員」に含めた。

Sub-Series 「No.3: 東北交通委員会秘書」は、前述したようにSub-Series「No.2: 関東軍統治部交通課」と重なる部分が多く、設立関係の文書を中心に含めた。

Sub-Series 「No.4: 瀋海鐵路保安維持会監事長秘書」は、山口が1931年10月から翌年3月まで関わった瀋海鐵路保安維持会時代の文書である。ここには、Sub-Series「No.2: 関東軍統治部交通課」と重なる部分を除いて、明確に瀋海鐵路に関係する文書であるもののみ含めた。

Sub-Series 「No.5: 齊克鐵路復興委員」は、山口が1931年11月から翌年3月まで関わった齊克鐵路時代の文書である。分量は少なく2点しかない。

Sub-Series 「No.6: 満洲国協和会中央事務局次長」は、山口が1932年4月の満洲国協和会設立に関わってから、1934年9月に辞任するまでの満洲国協和会時代の文書から構成される。また、このSub-Seriesの下には、3つのSub-Sub-Series（「創設関係」・「組織関係」・「北満特別工作」・「東辺道特別工作」・「精神工作」・「その他」）を設定した。これらは類似のものをグループ分けした便宜的なものであって、Sub-Series内部の構造を完全に反映させたものではない。ただし、「北満特別工作」および「東辺道特別工作」に関しては山口の著書（『満州建国の歴史』）において協和会時代の具体的な活動として紹介されたものであり、一定のまとまりを持っている。

Sub-Series 「No.7: 東亜産業協会理事長」は、1933年7月に設立された東亜産業協会の理事時代の文書である。東亜産業協会は産業資源調査と貿易振興助成を表看板にしているが、内実は内蒙進出を目的として山口が関東軍参謀田中新一らと共に結成した満洲国社団法人である。このSub-Seriesには、2つのSub-Sub-Series（「事業関係」・「内蒙工作」）を設定した。「事業関係」は便宜的な区分であるが、「内蒙工作」は一定のまとまりを持っている。

Sub-Series 「No.8: 奉天市政公署参事官」は、1935年9月から1937年7月までの奉天市政公署時代に関わる文書である。山口は着任時は参事官であったが、離任時は参与官総務処長であった。文書は参事官時代を中心

にして3点しかない。なお、参与官退任後から牡丹江省次長に着任する間、國務院総務庁参事官を務めるが、実質的な勤務は無く、文書も残されていない。

Sub-Series 「No.9: 牡丹江省次長」は、1938年1月から9月まで務めた牡丹江省次長時代の文書である。多くは退官時の挨拶名簿であるが、東満開発に関わる文書も含まれている。

Series No.2 「個人」は、山口重次の個人的活動に関わる文書である。名簿・名刺帳・書簡などが中心であり、2つのSub-Series（「書類」・「書簡」）から構成される。

Sub-Series 「No.1: 書類」は、公的活動を退いた後に山口が作成または収受した文書から構成されるが、戦後のものが中心である。また、名刺帳とSub-Series「No.2: 書簡」は、別の時期に同じ古書店から購入したものである。

Sub-Series 「No.2: 書簡」は、公的活動に関わるものも多く含まれているが、一括したSub-Seriesを設定し、山口宛と第三者間の順番で発信者の五十音順に配列した。

(3.4.5) 形態と状態：山口重次文書は、書類のみから構成され、名刺帳を除くと写真・モノ資料は含まれない。古書店から購入した時点で原秩序は失われていたが、積み重ねられた文書の順番のまま整理番号を付与した。ただし、積まれている文書の順序もかなり異動があったと見られ、現状を復元できない文書が多い。また、大半が昭和戦中から戦後期にかけて作成された文書であるため、酸性化が進み紙質の劣化が激しい。現在、マイクロ撮影を予定しており、撮影後は紙焼き本での閲覧が望ましい。

(3.4.6) 検索手段：『史料目録 第95集』

(3.5.4) 関連資料の所在：国立国会図書館憲政資料室および鶴岡市郷土資料館所蔵の石原莞爾文書は、山口と関係の深かった石原莞爾の個人文書であり、満洲事変および満洲国協和会関係の文書が多く含まれる。その他、国立国会図書館憲政資料室の片倉衷文書にも満洲事変以降の関連文書が含まれている。

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

Series No1: 公的活動 (満洲)

Sub-Series No.1: 満鉄社員

〔埠頭構内に於ける衛生事項に関する意見〕 埠頭事務所貨物課倉庫係雇員山口重次→埠頭事務所長梅野実	大正1年7月2日(1912)	1綴・タイプ	64
仮置倉庫詰所ノ管掌業務ニ就テ(埠頭教科書編纂材料応募答案) 海運課上屋係雇員山口重次		1綴・ペン	65
本邦港湾荷役ニ関スル改善意見〔附:本邦港湾荷役一般調査〕 南満洲鉄道株式会社鉄道部長宇佐見寛爾→港湾協会会長水野鍊太郎		1綴・タイプ	66
〔埠頭貨物取扱規則に関する解説。表紙は「社会世相 露西亜・支那・蒙古」〕		1綴・タイプ	19
〔荷役作業管理方法・華工管理方法改善に関する意見原稿。表紙は「移民」〕 (山口重次)		12枚・ペン	75
倉庫ト野積トノ貨物保管経費比較〔55頁以降欠〕 鉄道部営業課貨物係		33枚・菊蕪版	77
自昭和元年十月至二年九月各駅月別一日平均在貨噸数表	昭和2年(1927)	1枚・菊蕪版	72
〔満蒙関連諸パンフレット抜粋 目次〔(一)満蒙ニ於ケル我が既得權益ノ蹂躪サレタル实例、(二)南満洲及東部蒙古ニ関スル条約並関係公文、(三)満洲ニ於ケル日支合弁事業ノ成績、(四)邦人鑛山経営ニ対スル圧迫問題、(五)満蒙ニ関スル日本ノ投資額、(六)満蒙ニ於ケル世界各国ノ投資額〕 南満洲鉄道株式会社用紙	昭和4年(1929)	1綴・タイプ	287
〔營口・鞍山・奉天・撫順、奉天-大石橋間各駅出張報告後半部欠〕 南満洲鉄道株式会社タイプ紙	昭和5年(1930)	1綴・タイプ	17
〔大連港に関するレポート〕 南満洲鉄道株式会社用紙	昭和7年(1932)	27枚・タイプ	63
会社予算執行ニ関スル件 内閣拓殖局長	大正15年5月(1926)	1枚・タイプ	161
会社予算執行ニ関スル件〔No.161と同文〕 内閣拓殖局	大正15年5月(1926)	1枚・タイプ	356
南満洲鉄道株式会社関係法令ニ依ル認可ヲ要スヘキ申請件名及摘要法令条項〔No.357と一綴カ〕		7枚・タイプ	357
南満洲鉄道株式会社関係法令ニ依ル認可ヲ要スヘキ申請件名及摘要法令条項〔No.143と同文〕		1綴・タイプ	143
南満洲鉄道株式会社関係法令ニ依ル認可ヲ要スヘキ申請件名及摘要法令条項〔No.143と同文〕		7枚・タイプ	163

Sub-Series No.2: 関東軍統治部交通課長

交通政策

〔軍司令官の要望に関するメモ〕 (山口重次)	10月	1枚・ペン	320
満鉄会社ニ対スル要望事項 関東軍司令部	昭和6年10月6日(1931)	2枚・謄写版	257

〔満鉄委任経営に関するメモ〕〔山口重次〕		1枚・ペン	323
軍司令官ト満鉄総裁間ノ協定	昭和7年3月(1932)	1枚・ペン	258
刊行物分与ニ関スル件 特務部→満鉄副総裁	昭和7年3月18日(1932)	1枚・ペン	134
関東軍命令〔附 関東軍特殊通信業務規定〕 関東軍司令官本庄繁	昭和7年2月22日(1932)	1綴・タイプ	280
覚書〔満洲国駐屯日本軍経費に関する協定〕		3部・タイプ	351
覚書〔満洲国駐屯日本軍経費に関する協定 No.351と同文〕		5枚・タイプ	354
地方金融並運輸研究会〔議事録〕	昭和6年12月(1931)	12枚・タイプ	79
第二回地方金融並運輸研究会	昭和6年12月8日(1931)	3枚・タイプ	114
統治部関係会議一覧	昭和6年12月24日(1931)	2枚・タイプ	135
統治部	昭和〔6年〕-7年(1931-32)	17種	49
交通通信ニ関スル条約案 添付第一号〔「交通通信管理機関組織案」(添付第二号)・「満蒙鉄道資本関係」(添付第三号)同綴〕		1綴・タイプ・ペン	32
統一運賃適用ニ依ル東北各鉄路収入予想〔添付第四号〕		1綴・タイプ・ペン	33
交通通信ニ日本人ヲ使用シ得ル見込数〔添付第五号〕		1綴・タイプ・ペン	34
新線工事所要土工数〔添付第六号〕		1綴・タイプ・ペン	35
〔東北交通委員会日本人職員に関する件〕		1綴・タイプ	36
満鉄編輯「満蒙ノ道路」抜粋		1綴・蒟蒻版	37
奉天省各県長途汽車公司及路程一覧表(東北年鑑抜粋)		1綴・蒟蒻版	38
日本内地公道ノ種別		1綴・蒟蒻版	39
清算業務ニ就テ〔其ノ一・其ノ二〕		1綴・タイプ	40
東北四省鉄道網計画 陸軍罫紙		1綴・ペン	41
自動車交通事業ノ統制方針		1綴・タイプ・ペン	42
交通政策ノ実行方法〔特務部作成「満蒙交通通信政策要項」同綴〕	昭和7年2月	1綴・タイプ・ペン	43
〔満洲事変後の満洲各鉄道ノ状況と、各鉄道ニ対スル関東軍ノ援助ニ関スル報告〕 陸軍罫紙		1綴・タイプ・ペン	44
鉄道其ノ他経営ニ関スル協定〔附：委任経営鉄道ノ経営監督官々制〕		1綴・ペン	45
道路網計画並自動車交通事業ニ関スル協議事項		1綴・蒟蒻版	46
各鉄道ノ貨物輸送成績		1綴・タイプ	47
鉄道及之カ附帯営業ニ対スル時局ノ影響 山口重次	昭和6年11月(1931)	1綴・タイプ	48

統一運賃適用ニ依ル東北各鐵路収入予想		4枚・謄写版	157
統一運賃適用ニ依ル東北各鐵路収入予想〔No.157と同文〕		2枚・謄写版	364
〔統一運賃適用ニ依ル東北各鐵路収入予想〕		6枚・タイプ	158
〔統一運賃適用ニ依ル東北各鐵路収入予想 No.158と同文〕		2枚・タイプ	365
満蒙交通通信政策要綱〔No.281の草稿〕 陸軍野紙		1綴・ペン	329
満蒙交通通信政策要綱〔No.266の原稿〕 交通課案・陸軍野紙		1綴・ペン	281
満蒙交通通信政策要綱 交通課	昭和7年2月2日(1932)	5枚・タイプ	266
満蒙交通通信政策要綱〔No.266の修正版〕 特務部	昭和7年2月2日(1932)	1綴・タイプ	265
東北交通政策ノ要綱 第三課囑託 山口重次	昭和6年10月(1931)	54枚・タイプ	267
東北交通政策ノ要綱〔No.267と同文〕 第三課囑託 山口重次	昭和6年10月(1931)	1綴・タイプ	271
〔交通課・交通委員会員名簿〕		7枚・タイプ	268
交通ニ日本人ヲ使用シ得ル見込数〔No.139の原稿〕		3枚・ペン	138
交通ニ日本人ヲ使用シ得ル見込数		4枚・タイプ	139
交通政策実行方法〔No.333の原稿〕 〔山口重次〕		1枚・ペン・タイプ	312
〔交通政策実行方法草稿 No.312の別種〕 〔山口重次〕		1綴・ペン	313
満蒙開発経済政策要綱資料提出ノ件 東北交通委員会 主席顧問代理村上義一→関東軍参謀部第三課森主計正	昭和6年11月(1931)	4枚・タイプ	333
満蒙開発経済政策要綱資料提出ノ件〔通知文のみ〕 東北交通委員会主席顧問代理村上義一→関東軍参謀部第三課森主計正	昭和6年11月(1931)	3枚・タイプ	334
〔満蒙開発経済政策要綱資料 No.333と同文〕		1綴・タイプ	270
〔満蒙開発経済政策要綱資料 No.333と同文〕		1綴・タイプ	352
〔満蒙開発経済政策要綱資料後半部分修正〕		1枚・タイプ・ペン	338
〔流動資金借入れに関する規定 No.338の加除部分〕		1枚・タイプ	326
〔流動資金借入れに関する規定 No.326と同文〕		1枚・タイプ	368
交通管理局職制案〔No.269の原稿〕 陸軍野紙		1綴・ペン	277
交通管理局職制案		1綴・タイプ	269
交通通信ニ関スル条約〔No.272の原稿〕 〔山口重次〕		1綴・ペン	339
交通通信ニ関スル条約		1綴・タイプ	272
交通通信管理機関組織		1枚・ペン	274
鉄道並其他交通機関経営及建設権譲渡ニ関スル協約 陸軍野紙		1綴・ペン	317

〔交通の監督に関する取扱規程 第48-69条〕 陸軍野紙		1綴・ペン	319
鉄道及其ノ他ノ交通通信機関管理権委譲ニ関スル条約 陸軍野紙・南満洲鉄道株式会社野紙		1綴・ペン	278
〔交通部に関する規程草稿 前後半部欠〕〔山口重次〕		1枚・ペン	289
〔交通省組織図〕		1枚・蒟蒻版	105
交通部官制形態ニ関スル件〔附：政府組織表〕 児玉常雄→交通部	昭和7年2月24日(1932)	2枚・ペン・タイプ	120
鉄道及之カ附帯営業ニ対スル時局ノ影響〔No.137の原稿〕 囑託山口重次	昭和6年11月13日(1931)	16枚・ペン	136
鉄道及之カ附帯営業ニ対スル時局ノ影響 囑託山口重次	昭和6年11月(1931)	13枚・タイプ	137

鉄道建設・営業

新設線営業予想表説明・各鉄道旅客貨物数量予想・各鉄道工事竣工予定		10枚・タイプ	369
新設線営業予想表説明		1綴・タイプ	355
新設線営業予想表説明〔No.355と同文〕		5枚・タイプ	162
新設線営業予想表		2枚・タイプ	375
新設線営業予想表〔No.375と同文〕		2枚・タイプ	363
新設線営業予想表〔No.375と同文〕		4枚・タイプ	376
新設線営業予想表〔No.375と同文〕		2枚・タイプ	159
新線工事所要土工数 陸軍野紙		3枚・ペン	119
〔東北諸線資金・評価額一覧表〕 陸軍野紙		1枚・ペン	314
満蒙鉄道資産関係 陸軍野紙		1枚・ペン	315
満蒙鉄道資本関係 陸軍野紙		3枚・ペン	316
〔新線建設費 No.132の原稿〕 陸軍野紙		1枚・ペン	131
〔新線建設費〕 陸軍野紙		1枚・タイプ	132
〔通信施設費〕		1綴・ペン	133
〔A.鉄道関係〕		5枚・タイプ	144
〔満鉄後背地出廻状況・附近地理聴取に関する経緯〕		6枚・タイプ	113
洮索鐵路工程局		1枚・蒟蒻版	378
四洮鐵路貸金及経営契約〔附：借款元利高〕 南満洲鉄道株式会社総裁内田康哉・四洮鐵路管理局局長闕鐸	昭和6年12月1日(1931)	4枚・タイプ・ペン	121
〔瀋海鐵路・吉海鐵路概要〕〔山口重次〕		3枚・ペン	349
〔吉海鐵路に関するメモ〕 吉林大迫中佐→参長		1枚・ペン	127
〔吉敦・吉長鐵路に関するメモ〕		1枚・ペン	122

中東鐵路地方的等級		8枚・タイプ	166
〔中東鐵路他概要 No.200の原稿〕〔山口重次〕		15枚・ペン	350
〔中東鐵路他概要〕		1綴・タイプ	200
泰山鐵路關係		2枚・タイプ	111
北寧鐵路対英借款内容 陸軍罫紙	昭和7年(1932)	1枚・ペン	328
〔北寧鐵路概要〕		1綴・タイプ	199

呼海鐵路接收

呼海鐵路経営合同 黒竜江省政府省長張景恵・南滿洲鐵道總裁代理宇佐見寛爾	昭和7年1月8日(1932)	4枚・タイプ	147
呼海鐵路経営契約 南滿洲鐵道總裁代理・黒竜江省政府省長	昭和7年(1932)	5枚・タイプ	151
呼海線整理要綱 哈爾濱事務所原稿罫紙		6枚・ペン	115
呼海鐵路公司〔職員名簿〕		1枚・薊蕪版	276
黒竜江省官銀号復業資金借款合同 黒竜江省政府省長・南滿洲鐵道總裁代理	昭和7年(1932)	12枚・タイプ	148
黒竜江省官銀号復業資金貸借契約		10枚・タイプ	348

松花江水運關係機関整理

在松花江官有船舶ノ経営実行案	昭和7年2月29日(1932)	5枚・ペン	140
在松花江官有船舶経営ニ関スル件〔No.110の起案文〕 参謀長→哈爾濱特務機関長土肥原大佐	昭和7年3月1日(1932)	4枚・ペン	117
在松花江官有船舶経営ニ関スル件 関東軍参謀長三宅光治→哈爾濱特務機関長土肥原大佐	昭和7年3月2日(1932)	5枚・タイプ	110
在松花江官有船舶経営ニ関スル件〔No.110と同文〕 関東軍参謀長三宅光治→哈爾濱特務機関長土肥原大佐		1綴・タイプ	283
在松花江官有船舶ノ経営実行案〔No.141の草稿〕		6枚・ペン	142
〔在松花江官有船舶ノ経営実行案〕 関東軍参謀長三宅光治→哈爾濱特務機関長土肥原大佐	昭和7年3月2日(1932)	5枚・タイプ	141
松江航務部暫行章程 行政委員長		2枚・タイプ	164
松江航務部暫行章程〔No.164と同文〕 行政委員長		2枚・タイプ	337
暫行松江航務部章程〔No.164の草稿〕		5枚・ペン	116
松江航務部設立ノ件〔No.149の命令案草稿〕		2枚・ペン	118
松江航務部設立ノ件(交通総長ヨリ東北航務局等ニ対スル命令案)・暫行松江航務部章程		3枚・タイプ	149
松江航務部設立ノ件・暫行松江航務部章程〔No.149と同文〕		3枚・タイプ	383
松江航務部設立ノ件・暫行松江航務部章程〔No.150と同文〕		3枚・タイプ	335

山口重次文書目録 / 公的活動(満洲) / 関東軍統治部交通課長

松江航務部設立ノ件・暫行松江航務部章程〔No.151と 同文〕		3枚・タイプ	336
在松花江船舶系統 陸軍罫紙		1綴・ペン	273
〔松江航務部設立に関するメモ〕 関東軍特務部山口		1枚・ペン	130
満洲事変史「交通之部」ノ六 松江航務部編		1綴・ペン	275
〔在満鐵路概要・松黒烏諸河川の海軍江防と水上事業 関係の諸機関及系統に就て他〕		1綴・タイプ	282
〔河川事業関係組織化等に関する書類〕		1綴・タイプ	285
東北造船所一九二九年度収支決算表(大洋元)	昭和5年(1930)	2枚・タイプ	152
東北造船所未支払及未収金表(二月十九日現在)	2月19日	4枚・タイプ	153
東北造船所民国十八年度予算並十九年度予算比較表	民国18年(1929)	6枚・タイプ	155
東北商船学校経費		4枚・タイプ	150
東北水道局経費ノ一部(毎年支出)		2枚・タイプ	259
〔総務司・鉄道司・水運司職員名簿〕		1綴・タイプ	341
〔総務司・鉄道司・水運司職員名簿 No.341と同文〕 陸軍用紙		5枚・タイプ	347

個別政策

軍管理鉄道ノ営業代行ニ関スル件 国際運輸株式会社 用紙		1枚・タイプ・ペン	332
装甲自動車日程表 国際運輸株式会社罫紙		2枚・タイプ	128
敦化海林間自動車道路建設費予算		4枚・タイプ	160
東北聯合工務局総章程(草案)		15枚・タイプ	165
東北聯合工務局毛利中職員賞与分配表	昭和〔5年〕(1930)	3枚・タイプ	154
東北工務局董事会編制表		1綴・謄写版	264
一九三二年一―三月収支予算(一月十一日第三五次 董事会会議録)	昭和7年(1932)	4枚・タイプ	156
葫蘆島築港費花旗銀行ニ支払ノ件 特務部長→奉天省 最高顧問金井章次	昭和7年3月11日(1932)	1枚・ペン	126
経済連盟規約	昭和	1綴・タイプ	76
幣制及金融諮問事項		3枚・タイプ	384
〔満洲流通貨幣・幣制に関する会議メモ〕 陸軍罫紙		7枚・ペン	11
東北大学附属工場調査員派遣ノ件〔書込「次長ノ意見 ニ依り中止」〕 →満鉄総裁内田康哉 陸軍罫紙	昭和	1枚・ペン	318
東北大学附属工場経営ノ件 〔山口重次〕 陸軍罫紙		1枚・ペン	288
申請書〔満蒙無線電信事業許可申請書〕 満蒙無線電信 株式会社創立事務所創立委員長本多貞次郎→関東軍司令官 本庄繁	昭和6年12月26日(1931)	1綴・タイプ・ペン	8

〔満蒙無線電信株式会社趣旨書〕 満蒙無線電信株式会社創立事務所		1綴・タイプ	9
〔電話番号変更の件〕 東北交通委員会→関東軍統治部交通課	昭和〔7年〕1月21日(1932)	1枚・タイプ	145
メモ・雑書類			
招待状〔出欠連絡に関するメモ同封〕 関東軍司令官本庄繁→山口重次	昭和7年1月25日(1932)	1枚・活版	70
〔営業課長より鉄道部長宛奉天派遣起案に関する下書〕〔山口重次〕 陸軍罫紙		1枚・ペン	299
〔交通課長より鉄道部気付後宮大佐宛協定書写送付ノ件起案下書〕〔山口重次〕 陸軍罫紙		1枚・ペン	300
〔重役人事等に関する意見 前半部欠〕		1枚・タイプ	104
〔数字メモ〕〔山口重次〕 陸軍罫紙		1枚・ペン	290
〔満洲駅間に関するメモ〕〔山口重次〕 陸軍罫紙		1枚・ペン	291
〔経費に関するメモ〕〔山口重次〕 陸軍罫紙		1枚・ペン	292
〔用兵・治安維持に関するメモ〕〔山口重次〕 陸軍罫紙		1枚・ペン	293
〔郵務局・水運局人員に関するメモ〕〔山口重次〕 陸軍罫紙		1枚・ペン	294
〔処理すべき事務に関するメモ〕〔山口重次〕 陸軍罫紙		1枚・ペン	295
〔株式原簿・営業状態・財産状態・人物考査に関するメモ〕〔山口重次〕 陸軍罫紙		1枚・ペン	296
〔金額に関するメモ〕〔山口重次〕 陸軍罫紙		1枚・ペン	297
〔人物考査に関するメモ〕〔山口重次〕 陸軍罫紙		1枚・ペン	298
〔満洲内鉄路局に関するメモ〕〔山口重次〕 陸軍罫紙		1枚・ペン	301
〔各鉄路局権利に関するメモ〕〔山口重次〕 陸軍罫紙		1枚・ペン	302
〔各鉄路局経営に関するメモ〕〔山口重次〕 陸軍罫紙		1枚・ペン	303
〔満洲国・関東軍・満鉄の権利に関するメモ〕〔山口重次〕 陸軍罫紙		1枚・ペン	304
〔特務部より顧問部宛奉山路貸付に関する起案下書〕〔山口重次〕 陸軍罫紙		1枚・ペン	305
〔鉄道権利に関するメモ〕〔山口重次〕 陸軍罫紙		1枚・ペン	306
〔鉄道局・総務司人員に関するメモ〕〔山口重次〕 陸軍罫紙		1枚・ペン	307
〔交通通信等部門大別に関するメモ〕〔山口重次〕 陸軍罫紙		1枚・ペン	309
〔吉敦延長線建造請負契約等に関するメモ〕〔山口重次〕 陸軍罫紙		1枚・ペン	310
〔俸給等に関するメモ〕〔山口重次〕 陸軍罫紙		1枚・ペン	311

山口重次文書目録 / 公的活動(満洲) / 関東軍統治部交通課長

〔池田耕一に関するメモ〕〔山口重次〕陸軍罫紙		1枚・ペン	321
〔奉天駅間に関するメモ〕〔山口重次〕陸軍罫紙		1枚・ペン	322
〔鉄道司人員に関するメモ〕〔山口重次〕陸軍罫紙		1枚・ペン	343
〔各鉄路局管理に関するメモ〕〔山口重次〕陸軍罫紙		1枚・ペン	344
〔鉄路局中国人名簿〕〔山口重次〕南満洲鉄道株式会社罫紙		1枚・ペン	345
〔吉海線他輸送量に関するメモ〕〔山口重次〕南満洲鉄道株式会社用箋		3枚・ペン	346
〔参謀部第二課和知参謀電信電話・自治指導部・青聯関係・特産関係等メモ〕〔山口重次〕		1枚・ペン	123
〔満洲各線の現状に関するメモ〕〔山口重次〕		1枚・ペン	124
〔鉄道警備に関するメモ〕陸軍罫紙		1枚・ペン	125
〔管理権に関するメモ〕陸軍罫紙		1枚・ペン	340
〔電話局従業員の採用について〕		1枚・タイプ	327
奉天 昭和六年十二月現在 空家調	昭和6年12月(1931)	2枚・謄写版	324
満洲事変解決ニ関スル対英政策建白書	昭和6年11月6日(1931)	5枚・タイプ	146

Sub-Series No.3: 東北交通委員会秘書

東北交通委員会設立総会	昭和6年10月23日(1931)	1綴・タイプ	371
東北交通委員会設立総会〔no.371にある議事欠〕	昭和6年10月23日(1931)	1枚・タイプ	366
第一回交通委員成立会	10月23日	1枚・タイプ	370
東北交通委員会章程		1綴・タイプ	372
東北交通委員会章程〔No.372と同文〕		2枚・タイプ	377
東北交通委員会章程〔1頁目のみ〕		1枚・タイプ	367
〔東北交通委員会章程 2頁目のみ〕		1枚・タイプ	373
東北交通委員会中国人従業員調		7枚・タイプ	331
東北交通委員会中国人従業員調〔No.331と同文〕		4部・タイプ	374
東北交通委員会中国人従業員調〔1頁目のみ〕		1枚・タイプ	381
東北交通委員会事務及什器引継方法打合		4枚・タイプ	382
東北交通委員会鉄道計画会議決定幹支線建設順序		1綴・タイプ	263
東北交通委員会ノ政策要綱 第三課囑託山口重次	昭和6年10月(1931)	1綴・タイプ	284
〔交通委員会設置に関する件〕 鉄道部長(部長ノ命ニ依リ 山口重次)→吉林公所長 南満洲鉄道株式会社罫紙	昭和6年10月25日(1931)	1枚・ペン	129
〔交通委員会開所式に関するメモ〕〔山口重次〕陸軍罫紙		1枚・ペン	308

〔交通委員会職員数に関するメモ〕〔山口重次〕陸軍 昇紙		1枚・ペン	325
東北鉄道網計画〔附 東北交通委員会鉄道網計画会 議決定幹支線表・全幹支線建設順序〕東北交通委員 会顧問オストラモフ建議 訳文責任者仲本囑託		1綴・タイプ	286
東北鉄路網計画 訳文 盧景貴案 訳文責任者仲本囑託		1綴・タイプ	279
顧問会議打合せ事項〔交通委員会山口出席〕	昭和6年11月17日(1931)	2枚・タイプ	112

Sub-Series No.4: 瀋海鉄路保安維持会監事長秘書

監事長就任訓辞要項 陸軍昇紙	昭和6年10月13日(1931)	1綴・ペン	30
〔監事長就任訓辞要項 中文〕瀋海鉄路公司処用紙	昭和6年10月(1931)	1綴・墨書	31
瀋海鉄路業務開始ニ関スル件 奉天市政公所長土肥原賢 二→関東軍司令官本庄繁	昭和6年10月(1931)	1綴・タイプ	20
瀋海鉄路業務開始ニ関スル件〔No.20と同文〕奉天市 政公所長土肥原賢二→関東軍司令官本庄繁	昭和6年10月(1931)	3枚・タイプ	23
瀋海鉄路公司整理ニ関スル経緯	昭和6年10月(1931)	32枚・タイプ	24
関統発第二六一号 業務連絡ニ関スル件通牒 関東 軍統治部長駒井徳三→瀋海鉄路主席顧問	昭和6年12月21日(1931)	1綴・タイプ	21
公用車車輛規則遵守ノ件 〔瀋海鉄路〕参事→〔瀋海鉄路〕 顧問	昭和6年12月26日(1931)	1綴・タイプ	22
瀋海鉄路保安維持会訓令第三号		1枚・タイプ	353

Sub-Series No.5: 齊克鉄路復興委員

齊克線整理第二報 山口重次・浜本一人	昭和6年11月24日(1931)	2枚・タイプ	358
第五章 設立準備事務開始〔満洲事变史「交通之部」 第3卷齊克鉄路編の表紙に綴込。「日本再建方策」 (戦後)の書き込みあり〕		7枚・タイプ	58

Sub-Series No.6: 満洲国協和会中央事務局次長

創設関係

〔満洲青年聯盟に関する原稿断片 前後半部欠〕〔山 口重次〕満洲帝国政府原稿用紙	昭和	1枚・ペン	230
自治指導部創設ノ思出 中西敏憲	昭和11年9月18日(1936)	1綴・タイプ	206
調査項目 自治指導部用紙		3枚・タイプ	103
満洲国協和青年党組織		1枚・謄写版	256
協和党設立ノ趣意		1枚・タイプ	238
協和党設立ノ趣意・宣言・綱領		5枚・タイプ	239
協和党設立ノ趣意・宣言・綱領・協和党規約・協和党設 立ノ趣意		1綴・タイプ	240

声明書ノ大意・協和党設立ノ趣意・宣言・綱領		1綴・タイプ	241
〔協和党規約・宣言〕		7枚・タイプ	217
〔協和党規約第21・22条〕		1枚・タイプ	242
〔政府・中央銀行・資本統制機関組織表〕〔山口重次〕 満洲協和党原稿用紙		1枚・ペン	342
許可指令案〔満洲国協和会設立〕		1綴・タイプ	198
許可指令案〔No.198と同文〕		2枚・タイプ	218

組織関係

満洲国協和会ノ概容 満洲国協和会用紙	大同1年(1932)	1枚・タイプ	236
〔満洲国協和会概要 No.236の続き〕		1綴・タイプ	203
満文 協和会指導要綱〔封筒〕		1枚・墨書	3
〔協和会指導要綱原稿〕 満洲帝国政府異紙		1部・ペン	2
〔協和会工作員用工作指導要領 No.5と内容若干相違〕		1綴・謄写版	4
〔協和会工作員用工作指導要領 No.4と内容若干相違〕		1綴・謄写版	5
協和会史資料集 第二輯 設立準備時代ノ諸資料 〔一部頁欠。表題と無関係の文書一部混入カ〕 満洲 帝国協和会中央本部	康德7年7月(1940)	1綴・タイプ・ペン	387
協和会史資料集 第四輯 中央事務局新京移転前後 満洲帝国協和会中央本部	康德8年8月(1941)	1綴・タイプ・ペン	388
思想方策並実施機構組織案		1綴・タイプ	60
思想方策並実施機構組織案〔No.60と同文〕		1綴・タイプ	192

北満特別工作

第四号 満洲協和会北満特別工作詳報 満洲協和会	大同1年6月4日(1932)	1枚・謄写版	50
〔満洲国協和会北満特別工作詳報 泰安鎮班〕 満洲 国協和会	大同1年6月7日(1932)	1綴・謄写版	56
第17号 満洲国協和会北満特別工作詳報〔拉哈班〕 満洲国協和会	大同1年6月8日(1932)	1綴・謄写版	54
〔満洲国協和会北満特別工作詳報 拉哈班・齊々哈爾 班〕 満洲国協和会	大同1年6月11日(1932)	1綴・謄写版	55
第32号 満洲国協和会北満特別工作詳報〔訥河班〕 満洲国協和会	大同1年7月2日(1932)	1綴・謄写版	51
第34号 満洲国協和会北満特別工作詳報〔克山班〕 満洲国協和会	大同1年7月2日(1932)	1綴・謄写版	52
第36号 満洲国協和会北満特別工作詳報〔昂々溪班〕 満洲国協和会	大同1年6月24日(1932)	1綴・謄写版	53
〔安達站より工作日誌〕	大同1年6月6日(1932)	1枚・タイプ	247

西部北満地方鎮撫並經濟復興実施案 満洲国協和会中央事務局	大同1年11月5日(1932)	12枚・タイプ	221
歩兵第三十聯隊配属宣撫員服務期日場所一覽表		1綴・ペン	202

東辺道特別工作

〔東辺道背面工作特派員報告通知〕 協和党用紙	6月2日	1枚・タイプ	210
東辺道背面工作情報 満洲協和会	大同1年6月2日(1932)	1枚・タイプ	235
東辺第壱号 東辺背面工作情報 満洲協和会	大同1年5月31日(1932)	11枚・謄写版	25
東辺第二号 東辺背面工作情報 満洲協和会	大同1年6月4日(1932)	24枚・謄写版	26
東辺第三号 東辺背面工作情報 満洲協和会	大同1年6月6日(1932)	7枚・謄写版	27
東辺道政治工作 奉天省公署	大同1年(1932)	1綴・タイプ	57
東辺道特殊工作方針		1枚・タイプ	262
第二次東辺道工作		1枚・ペン	260
東辺道内分社設置予定表 東辺商工日報社罫紙		2枚・ペン	219
〔治安肅正に関する昭和7年5月28日付山口宛マスタ電報・同年6月1日付山口宛ホリ電報〕 ホリ・マスタ→山口重次	昭和7年5月28日6月1日(1932)	3枚・タイプ	10
東辺救国義勇軍ニ関スル件 益田京三→満洲協和会設立委員会	大同1年6月1日(1932)	5枚・タイプ	213
鮮匪ノ動静ニ関スル件 益田京三→満洲協和会設立委員会	大同1年6月1日(1932)	2枚・タイプ	214
寛甸県ノ現状 益田京三→満洲協和会設立委員会	大同1年6月1日(1932)	2枚・タイプ	211
輯安県ノ情況 益田京三→満洲協和会設立委員会	大同1年6月1日(1932)	5枚・タイプ	212
辞令書〔東辺道工作員を命ず〕 中央事務局長	大同1年10月4日(1932)	2枚・ペン	261
齊克沿線ノ大豆出回り予想 協和会委員山口重次・大羽時男	大同1年11月27日(1932)	7枚・ペン	228
訥河県要人トノ会見記 山口重次・大羽時男	大同1年11月27日(1932)	10枚・ペン	229
劳工進行会ニ関スル報告書送付ノ件 協和会中央事務局次長山口重次	大同2年7月12日(1933)	1綴・タイプ	216
聯合会總會決議概要報告ノ件〔後半部欠〕 齊克沿線各県維持經濟連合会	大同2年9月22日(1933)	2枚・タイプ	222
〔宣伝班報告綴〕		1綴・タイプ	207

精神工作

満洲国建国宣言 満洲国政府	大同1年3月1日(1932)	5枚・タイプ	204
満洲ヲ中心トシテ組織サルヘキ王道革新基本綱領		1綴・タイプ	224
王道革新体組織方策		1綴・ペン	201
宣伝標語		8枚・タイプ	28

宣伝ビラ		11枚・タイプ	29
満洲事変ノ意義ト満洲建国ノ理想		1綴・タイプ	193
〔満洲国協和会と執政宣言について〕		1枚・タイプ	237
建国テーゼノ展開 満洲国協和会用紙		1綴・タイプ	197
〔王道建設について〕 満洲国協和会用紙		1綴・タイプ	194
〔王道建設について No.194と同文〕 満洲国協和会用紙		1綴・タイプ	195
〔王道建設について No.195と同文〕 満洲国協和会用紙		3枚・タイプ	225
〔王道建設について No.196と同文〕 満洲国協和会用紙		1綴・タイプ	226
〔民族協和・協和運動について 前後半部欠〕 満洲帝国協和会用紙		1綴・タイプ	220
〔民族協和の意義 後半部欠〕 満洲帝国協和会奉天省本部用箋		2枚・タイプ	243
〔協和運動の四要素 前半部欠〕 満洲帝国協和会奉天省本部用箋		4枚・タイプ	244
〔満洲建国前後の中国共産党について〕	昭和〔7年〕(1932)	1枚・ペン	71
旬報十月下旬第三号〔題目「北支研究旅行報告」〕	昭和〔8年〕(1933)	1綴・謄写版	59
第九講 群衆団体ハ統一的ナルヲ要ス 駐在中華民国満洲帝国通商代表部天津辦事処野紙		2枚・タイプ	233
〔民主化について〕〔山口重次〕 駐在中華民国満洲帝国通商代表部天津辦事処野紙		1枚・ペン	234
〔抗戦工作に關して〕 駐在中華民国満洲帝国通商代表部天津辦事処野紙		1綴・タイプ	18
宣伝ビラ写〔「蒋介石の真仮面具」・「華北民衆速求自決」・「覚醒!!覚醒!!」・「良心救国伝単」〕 満洲国協和会野紙		1綴・ペン	209
若シ極東戦ハバ?〔上海発刊の雑誌『自由言論』掲載論文〕		1綴・タイプ	361
支那革命外史 英独ノ元寇襲来〔北一輝『支那革命外史』第20章抜録〕		1綴・タイプ	85
その他			
委員会報告附議事項 満洲国協和会用紙	康德1年8月19日(1934)	3枚・タイプ・ペン	223
日満官民棉花問題座談會計画案 満洲国協和会奉天地方事務局	昭和8年(1933)	1綴・タイプ	61
協和会住宅新築工事手直シ経過報告並竣工調書		1綴・タイプ	205
特産物下落ニ対スル対策〔山口次長・奥村毅・大羽他座談会記録〕	10月17日	1綴・ペン	208
満洲国対欧宣伝外交策意見 満洲国協和会	大同1年10月17日(1932)	5枚・タイプ	215

満洲旗人ノ政治的生命 満洲国協和会用紙	大同2年2年(1933)	1綴・タイプ	95
〔日満戦時対策方案 前半部欠〕		11枚・タイプ	245
〔「革命後」と題する年表 後半欠〕		1枚・ペン	69
御前講演要旨 山口重次	康德1年(1934)	1綴・タイプ	16
御前講演要旨 満洲国協和会中央事務局次長山口重次	昭和9年(1934)	1綴・タイプ	74
〔溥儀の勅語 前半部欠〕	康德7年7月15日(1941)	1枚・タイプ	246
〔在満洲国日本人の横暴について 1-24頁欠〕		5枚・タイプ	88
〔協和会の現勢に就て他〕 満洲国協和会用紙	昭和9年(1934)	1綴・タイプ	62
〔断二生キル道〕骨子〔協和運動の今後〕	康德1年(1934)	3枚・タイプ	82
〔電報・書簡控〕 山口重次→軍政部多田〔駿〕少将・協和会小沢開策・近藤・板垣〔征四郎〕・松田〔令輔〕・浅野・東宮〔鉄男〕・遠藤〔柳作〕・小林・高須	康德1年(1934)	37枚・ペン	12
〔依蘭問題について〕 山口→仙台歩兵第四聯隊石原莞爾	昭和	1綴・ペン	227
〔石原莞爾について〕 〔山口重次〕		1枚・ペン	231
〔韓雲階について戦後の回顧〕	昭和	1綴・ペン	196

Sub-Series No.7: 東亜産業協合理事長

事業関係

東亜産業協会事業部案 東亜産業協会	大同2年11月10日(1933)	1綴・タイプ	94
第六回理事打合会議事録 東亜産業協会	康德1年10月12日(1934)	1綴・タイプ	92
〔定款変更に関する件〕 東亜産業協会会長代理阪谷希一	康德2年1月10日(1935)	3枚・タイプ	100
東亜産業協会事業方針案	康德2年1月(1935)	1綴・タイプ	90
東亜産業協会定款変更案	康德2年1月(1935)	1綴・タイプ	93
〔東亜産業協会事業方針に関する件〕 石本憲治→阪谷希一	昭和10年2月21日(1935)	1枚・タイプ	101
協会内部機構改革ニ関スル件 関東軍参謀部第三課長原田熊吉→東亜産業協会会長代理阪谷希一	昭和10年3月29日(1935)	1綴・タイプ	86
東亜産業協会定款変更案	康德2年4月(1935)	1綴・タイプ	91
第九回理事打合会議事録 東亜産業協会	康德2年4月10日(1935)	1綴・タイプ	89
第七回評議員会議事録 東亜産業協会	康德2年12月26日(1935)	1綴・タイプ	87
総括予算〔前半部欠〕 東亜産業協会用紙		1枚・タイプ	99
〔列国ノ北支ニ於ケル現勢〕 東亜産業協会野紙	昭和9年11月11日(1934)	1綴・タイプ	1
産協経報号外 対英二千磅借款ノ真相 東亜産業協会用紙	昭和10年5月20日(1935)	1綴・タイプ	102
満洲ヲ中心トシテ組織サルヘキ王道革新基本綱領 東亜産業協会野紙		4枚・タイプ	106

内蒙工作

察哈爾事情一般ニツイテ 東亜産業協会罫紙	大同2年9月28日(1933)	30枚・タイプ	108
内蒙自治ニ対シテ政府ノ為スヘキコト〔『大公報』彭立宇論述他〕 満洲国協和会罫紙	10月9日	1綴・タイプ	109
察哈爾王公連絡ニ関スル件 東亜産業協会罫紙	大同2年11月29日(1933)	2綴・タイプ	107
蒙古王公トノ座談会内容報告 東亜産業協会	大同2年12月20日(1933)	1枚・タイプ	84
第二次蒙古王公トノ座談会内容 東亜産業協会罫紙	大同2年12月(1933)	1綴・タイプ	97
蒙古国建設要領 正珠爾礼布		1綴・タイプ	96
察哈爾独立軍編成計画		1綴・タイプ	98

Sub-Series No.8: 奉天市政公署参事官

市政改革ニ関スル件 奉天市政公署参事官山口重次→奉天特務機関長土肥原少将	康德3年2月16日(1936)	2枚・タイプ	362
財団法人奉天市同前堂設立認可申請書 奉天市政公署奉天市長 王慶璋	昭和11年3月1日(1936)	1綴・タイプ	73
〔市公署人員減に関する請訓下書〕		1枚・ペン	232

Sub-Series No.9: 牡丹江省次長

東北満洲対裏日本交通革新要綱 関東軍司令部	昭和13年1月21日(1938)	1綴・タイプ	185
軍省連絡会議要旨	康德5年6月25日(1938)	1綴・タイプ	183
東満振興工作第二次計画会議議案 牡丹江省		1綴・タイプ	184
牡丹江省省政概要	昭和〔13年〕(1938)	9枚・タイプ・ペン	186
特殊行政概要〔東満開発〕		1綴・ペン	187
機構及人事関係 牡丹江省	康德5年6月20日(1938)	2枚・タイプ	188
篤志家ニ懇フ 牡丹江省山口重次		1綴・タイプ	190
牡丹江省公署青年隊庶務班名簿		1綴・タイプ	189
牡丹江省公署青年隊実業班名簿〔前半部欠〕		1枚・タイプ	330
〔牡丹江市人名メモ〕		5枚・ペン	68
山口・石田・内藤三氏歓迎懇談会主席者名	5月22日	1枚・タイプ	83
山口次長辞任挨拶名簿 庶務掛	康德5年(1938)	3枚・ペン	80
山口次長辞任挨拶順序 庶務掛	昭和〔13年〕(1938)	4枚・ペン	167
軍関係〔関係者名メモ〕	昭和〔13年〕(1938)	5枚・ペン	168
協和会〔関係者名メモ〕 奉天市政公署罫紙	昭和〔13年〕(1938)	2枚・ペン	169

中央銀行関係〔関係者名メモ〕	昭和〔13年〕(1938)	1枚・ペン	170
新京〔在住関係者名メモ〕 奉天市公署罫紙	昭和〔13年〕(1938)	2枚・ペン	171
新京政府〔関係者名メモ〕 奉天市公署罫紙	昭和〔13年〕(1938)	1枚・ペン	172
奉天〔在住関係者名メモ〕 奉天市公署罫紙	昭和〔13年〕(1938)	2枚・ペン	173
大連・旅順〔在住関係者名メモ〕 奉天市公署罫紙	昭和〔13年〕(1938)	2枚・ペン	174
吉林・安東〔在住関係者名メモ〕 奉天市公署罫紙	昭和〔13年〕(1938)	1枚・ペン	175
東京・横浜・千葉〔在住関係者名メモ〕 奉天市公署罫紙	昭和〔13年〕(1938)	1枚・ペン	176
朝鮮・大阪〔在住関係者名メモ〕 奉天市公署罫紙	昭和〔13年〕(1938)	1枚・ペン	177
内地〔在住関係者名メモ〕 奉天市公署罫紙	昭和〔13年〕(1938)	1枚・ペン	178
雑〔満洲・中国在住関係者名メモ〕 奉天市公署罫紙	昭和〔13年〕(1938)	2枚・ペン	179
〔未使用奉天市公署罫紙〕 奉天市公署罫紙	昭和〔13年〕(1938)	1枚・ペン	180
奉天省管下県本部〔協和会関係者名メモ〕 満洲帝国協和会奉天省本部原稿用紙	昭和〔13年〕(1938)	2枚・ペン	181
〔満鉄・協和会等関係者名メモ〕	昭和〔13年〕(1938)	2枚・ペン	182

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
〔満州事変史編集協力依頼〕 山口重次→花谷中佐	昭和10年7月1日(1935)	1綴・タイプ	359
〔満州事変史編集協力依頼 No.359の宛名無し〕		1綴・タイプ	360
満洲事変史配布名簿		2枚・タイプ	380
講演資料〔東満ノ開発ト新潟港〕〔山口重次〕	昭和14年(1939)	22枚・ペン	15
最近十五ヶ年間ニ於ケル入離満労働者表	康德7年(1941)	1枚・ペン	379
奉天千葉県人名簿	昭和14年11月(1939)	1枚・タイプ	386
在奉天千葉県人会会則並ニ沿革概況	昭和〔16〕年(1941)	1枚・タイプ	385
〔文筆家・著述家の仮指定と異議申立について〕	昭和23年3月(1948)	2枚・タイプ	13
著述家の仮指定に対する異議申立の件 山口重次	昭和23年4月(1948)	1綴・タイプ	7
〔異議申立理由原稿〕 山口重次	昭和23年(1948)	8枚・ペン	6
著述家仮指定ニ対スル異議ノ申立 山口重次	昭和	2枚・ペン	67
日本経済の概観〔山口重次〕	昭和〔27年〕(1952)	1綴・ペン	78
陳述書(第二案)〔戦後作成された山口の履歴〕 山口重次		1枚・タイプ	81
Master Card〔山口の履歴メモ〕	昭和	17枚・ペン	14
財団法人国際親善協会華僑留学生後援会役員名簿	昭和〔30年〕(1955)	1枚・ペン	248
承諾書〔財団法人国際親善協会華僑留学生後援会役員就任〕 財団法人国際親善協会会長東久邇稔彦→華僑留学生後援会	昭和30年(1955)	1枚・ペン	249
承諾書〔財団法人国際親善協会華僑留学生後援会役員就任〕 財団法人国際親善協会理事長森昇三郎→財団法人国際親善協会華僑留学生後援会会長東久邇稔彦	昭和30年(1955)	1枚・タイプ・ペン	250
承諾書〔財団法人国際親善協会華僑留学生後援会役員就任〕 弟子丸泰雄→財団法人国際親善協会華僑留学生後援会会長東久邇稔彦	昭和30年(1955)	1枚・タイプ・ペン	251
承諾書〔財団法人国際親善協会華僑留学生後援会役員就任〕 福田篤泰→財団法人国際親善協会華僑留学生後援会会長東久邇稔彦	昭和30年(1955)	1枚・タイプ・ペン	252
承諾書〔財団法人国際親善協会華僑留学生後援会役員就任〕 松前重義→財団法人国際親善協会華僑留学生後援会会長東久邇稔彦	昭和30年(1955)	1枚・タイプ・ペン	253
承諾書〔財団法人国際親善協会華僑留学生後援会役員就任〕 山口重次→財団法人国際親善協会華僑留学生後援会会長東久邇稔彦	昭和30年(1955)	1枚・タイプ・ペン	254
承諾書〔財団法人国際親善協会華僑留学生後援会役員就任。未使用〕 →財団法人国際親善協会華僑留学生後援会会長東久邇稔彦	昭和30年(1955)	15枚・タイプ	255

名刺整理帳〔国会議員・大学関係・出版・銀行・企業・公安・その他に分類。植木庚子郎・秦郁彦・樋口清之・住江金之・笹川良一・後藤文夫他304名〕	1冊	389
名刺整理帳〔山口重次・東亜連盟・協和党・企画院・軍人・新聞社・駐日大使館・新民会・興亜院・南京・北京・齊南・上海・満鉄・官庁・大同学院・協和会・新京・大連・奉天・西安・治安・天津・熱河・復県・龍江省・間島・安東・鞍山・吉林・赤峰・張家口・撫順・熊岳城・牡丹江・ハルピンと分類。池田純久・片倉衷・彭金山他682名〕	1冊	390
封筒〔「山口重次様 原稿在中」中身欠〕 河出書房新社用封筒	1枚・ペン	191

Sub-Series No.2: 書簡

修県長全行打合報告書 池田惣一	大同1年7月14日(1932)	1通・墨書	400
書簡〔四平街出張困難〕 石原重高→山口重次	昭和6年10月9日(1931)	1通・ペン	392
書簡〔満洲建国精神の件〕 片倉衷→山口重次	昭和8年7月18日(1933)	1通・墨書	402
書簡〔波多野玄猷協和会就職斡旋。寄書同封〕 中西敏憲→山口重次	昭和〔7年〕7月10日(1932)	1通・墨書	391
書簡〔本文欠。波多野玄猷履歴書同封〕 中西敏憲→山口重次	昭和〔7年〕7月10日(1932)	1通・墨書	398
書簡〔近況報告。年月日不明山口宛新宮書簡および書類〔国際運輸ノ瀋海線進出希望条件〕同封〕 森田成之→山口重次	9月30日	1通・墨書	404
書簡〔近況報告〕 山口よし→山口重次	12月9日	1通・墨書	405
書簡〔見舞状。協和会全国連合および勲章授与のこと。昭和16年10月6日付『満洲新聞』切抜(山口重次「本年度全連の役割一 興亜運動との連携 北方拠点の要請に応ふ」)同封〕 山口よし→山口重次	昭和16年(1941)	1通・墨書	406
書簡〔近況報告、金円用途相談〕 山口重次→山口よし	大同1年12月16日(1932)	1通・墨書	397
書簡〔近況報告〕 山口重次→山口よし	昭和2月28日	1通・墨書	399
書簡〔本文欠。出納原簿同封〕 山口重次→竜江駅平野駅長	昭和〔7年〕1月3日(1932)	1通・墨書	403
書簡〔国際電話施設実現促進の件。名刺同封〕 安部十二造→駒井徳三	昭和1月9日	1通・墨書	401
書簡〔日滿無線電話実現促進の件草稿〕 関東軍統治部→土肥原特務機関長		1通・墨書	407
書簡〔面談・就職斡旋〕 斎藤寛→山本澄江		1通・墨書	408
書簡〔面会御礼〕 山本聖陽→飯沼守	昭和17年9月8日(1942)	1通・墨書	396
書簡〔来訪時間通知依頼〕 山本聖陽→飯沼守	昭和17年10月8日(1942)	1通・墨書	394
書簡〔来訪御礼〕 山本聖陽→飯沼守	昭和17年10月26日(1942)	1通・墨書	395
書簡〔近況報告〕 山本聖陽→飯沼守	昭和〔17年〕12月7日(1942)	1通・墨書	393

